

ティーンズコーナー

新着図書

2021年8月～10月受入れ分

請求記号	タイトル	著者	出版社
007.37/1	みんなで叶えるためのサイバーセキュリティパンフレット ラブライブ!サンシャイン!!×サイバーセキュリティ月間	千代田まどか/ 漫画	内閣サイバーセキュリティセンター
K19	今すぐ読みたい!10代のためのYAブックガイド150! 2	金原瑞人/監修	ポプラ社
210.6/カ	それでも、日本人は「戦争」を選んだ	加藤陽子/著	新潮社
304/カ	転換期を生きるきみたちへ 中高生に伝えておきたい大切なこと の教室	岸内田樹/編	晶文社
321/1	法的思考のススメ 大人になる君に知ってもらいたいこと	尾島史賢/著	関西大学出版部
366.2/1	農学部 中高生のための学部選びガイド なるにはBOOKS	佐藤成美/著	ベリかん社
K375	100年無敵の勉強法 何のために学ぶのか? ちくまQブックス	鎌田浩毅/著	筑摩書房
376.4/1	通信制高校を選んだわけ	山口教雄/監修	学びリンク
K404	ジュニア空想科学読本 14	柳田理科雄/著	汐文社
491.35/1	うちのネコ、ボクの目玉を食べちゃうの? お答えします! みんなが知りたい死体のコト	ケイトリン・ドーティ/著	化学同人

請求記号	タイトル	著者	出版社
911.56/4	詩集『抒情小曲集』より 乙女の本棚	室生犀星/著	立東舎
913/カ	Re:ゼロから始める異世界生活 1	長月達平/著	KADOKAWA
913/ミ	おちよやん 結婚編 NHK連続テレビ小説 おちよやん小説版 2巻	八津弘幸/作	学研プラス
913/ミ	おちよやん 女優編 NHK連続テレビ小説 おちよやん小説版 3巻	八津弘幸/作	学研プラス
F/71	猫と竜 竜と悪魔と母猫	アマラ/著	宝島社
F/72	桜のような僕の恋人	宇山佳佑/著	集英社
F/73	あやかし友人日記 巡る四季のため奇譚	岡田暁/[著]	KADOKAWA
F/74/10	素材採取家の異世界旅行記 10	木乃子増緒/[著]	アルファポリス
F/75	きみの友だち	重松清/著	新潮社
F/76	浅田家! 徳間文庫 な46-1	中野量太/著	徳間書店
F/77	論理ガール 人生がとぎめく数学的思考のモノガタリ	深沢真太郎/著	実務教育出版
F/78	魔女の家 エレンの日記	ふみー/著	KADOKAWA
F/79	泡沫少女とアイデアの少年	yukkedoluce/ 原作・著	PHP研究所
929.13/1	ミョンハ YA!STAND UP	キムソヨン/著	影書房
943/1	黒い兄弟 上・下	リザ・テッ ナー/ 著	あすなろ書房
A376/1	愛知の私立高校ガイドブック 2022年入 試用	愛知県私学協 会/ 編	編者
R3	全国大学内容案内号 2021/07/14 2022 年(令和4年)入試対策用 螢雪時代8月臨時増刊		旺文社

★新刊トピックス★

2021年9月から10代のための新しいシリーズ「ちくまQブックス」が刊行されました。身近な「なぜ?」(Question)がスタート地点です。読んでいくうちに新たな疑問点がでてきていつの間にか、本好きになってしまうかも?何を読んでいいかわからないという人にも、ぜひお勧めしたいシリーズです。

この「ティーンズ・ライブラ」が皆さんの読書のきっかけになればと願っています。
(久)

※新型コロナウイルス感染症は、だいぶ落ち着いてきました。まだまだ油断はできませんが、ようやく活動が戻ってきたようです。

森鷗外に『渋江抽斎』という作品があります。鷗外は『武鑑』(ぶかん)という江戸幕府の役職名簿のような資料を集めていました。その内容に疑問を持った鷗外は、同じような疑問に気づいていた人がいたことを知るのでした。それが青森の藩医を務めた「渋江抽斎(しぶえ・ちゆうさい)」という人物でした。生きた時代もろくに、会ったこともないこの人物に心をひかれた鷗外は、抽斎とその家族の足跡を調べ、聞き取り、まとめたのがこの作品です。文章表現や言葉がむずかしく読みにくいところがありますが、当館所蔵の『鷗外歴史文学集 第5巻』(91868/F4/13-5)(岩波書店)には、ページごとに詳しい注釈がついています。先を急がず、じっくり味わっていくと、人が一生を生きるということ、幸運、不運さまざまな事実の連続であることを教えてくれます。

連載コラム
本好きさんになろう!

TEENS Libra

ティーンズ ライブラ 2021年冬号(No.28)

編集・発行 小牧市中央図書館

「YAライブラ」は今年度より「ティーンズ ライブラ」に名称変更いたします

名作にチャレンジ!

日本編

『それから』『人間失格』『金閣寺』などなど...

聞いたことはあるけどなかなか手が出ないのが文豪の名作。

ちょっと変わったバージョンをお届けしますので、この冬にまずは1冊チャレンジ!



現5千円札にも描かれている女性、樋口一葉の代表作です。

原文は江戸時代に生まれた「雅俗折衷体」という古い文体ですが、この本は現代意訳文も併せて書かれていてとても読みやすくなっています。

主人公や登場人物は皆さんと同じ“ティーンズ”。とても明治時代の話とは思えず、わかるわかる、その気持ち・・・と引き込まれます。

大人の階段を登っていく登場人物たちに、時代を超えて共感できる本です。



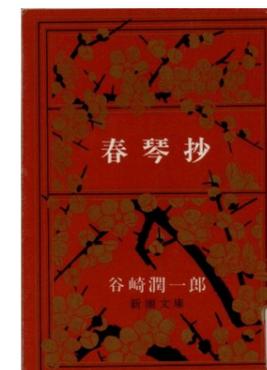
『たけくらべ』

樋口一葉／著 オモドック (F/71)

『春琴抄』

谷崎潤一郎／著 新潮社 (F/79)

映画化にもなった、谷崎の代表小説の一つです。盲目の主人春琴への佐助のいちずな思いは、現在においては耽美主義やマゾヒズムといった評価がついている様です。谷崎が43歳の時の作品で、大阪の豪商の夫人、根津松子への恋愛が発覚した時期でもありました。『春琴抄』は松子への思いが如実に現れた作品ともいわれ、又、句読点や改行を限りなく省略したゆるゆるとした文体も、関西の上流階級をほうふつとさせるものがあります。比較的、すぐ読めるボリュームです。おすすめの一冊です。



『蜜柑』

芥川龍之介／著 げみ／絵 立東舎 (F/71)



芥川龍之介さんの著書の中でも文章ボリュームが少なく、読みやすい作品です。特にこの本は絵本形式で、ティーンズ世代みなさんにもイメージし易い綺麗な挿絵です。

車両に乗った主人公の「私」の前に現れた一人の娘……。横浜へ向かう汽車の中で、二人に何が起こるのでしょうか？

冬の曇り空、陰鬱な空気を、爽やかな蜜柑がかき消してくれます。

『絵本の春』

泉鏡花／作 金井田英津子／画 朝日出版社 (F/71)

泉鏡花は、明治時代後期から昭和初期にかけて活躍した小説家です。「夜叉が池」「天守物語」などの戯曲作品もあります。

この作品の最初は、雪解け直ぐの春の描写から始まります。荒れ果てた土塀が続く狭い小路で木戸をのぞいた少年が、娘の時に一度死んで通夜に蘇ったという妖しい女性に出会い物語が進行していきます。幻想的・夢幻的な不思議な世界が広がっていきます。



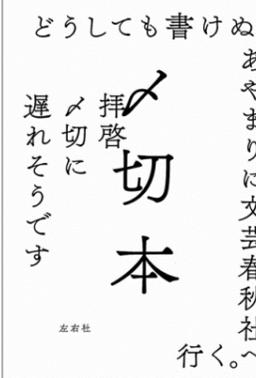
『×切本』

左右社編集部／編 左右社 (914.68/7)

「俺は樹になりたい」
「ほんとに風邪ひいたんですか」
「今夜やる。今夜こそ、やる。」

誰でも知ってるあの作品の、あの作家。でも、×切を守れない言い訳は私たちと同じレベル？

絶望したり、机の整理を始めたり、仮病になってみたりと様々な技を駆使した作家の言い訳を集めたら立派な本ができちゃいました。(2冊も!)「高尚すぎ」「難しそう」とつい敬遠しがちな文豪の名作に、違ったアプローチでお近づきになれる1冊です。



名作を生み出すだけでなく、悪と戦い世界を守る日本の文豪たち。お疲れ様です。

こちらは、ゲーム「文豪とアルケミスト」に登場する文豪たちの短編、書簡等を収録した作品集です。夏目漱石に「先生」と呼びかける芥川龍之介の書簡、泉鏡花と徳田秋声の『和解』など、文豪たちのリアルな関係と心が伝わる作品ばかりを集めた特別版になっています。書籍初出の太宰治「斜陽」直筆原稿など貴重な文学資料も収録された本格派です。

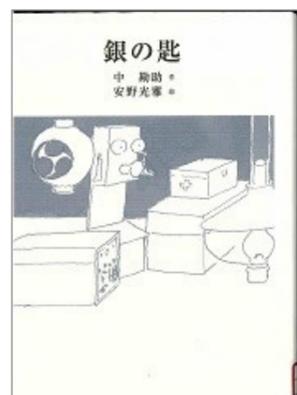
「推し」の素顔、覗いてみない？

『「文豪とアルケミスト」文学全集』新潮社版

芥川龍之介／ほか著 神楽坂ブック倶楽部／編集 新潮社 (918.6/7)

明治時代の少年が主人公の物語です。時代背景がなかなかイメージしにくいと思いますが、この本には、安野光雅さんの挿絵があり、温かい印象で包まれています。現代では馴染みのない言葉や品物など、注釈にも絵が添えられているのでイメージしやすくなっています。読み進めるうちに当時の情景が目に見えてきます。

少年が日々感じる日常の情景、少年の成長ぶりが書かれています。時代が違って、繊細な心持ちには共感点もあるのではないのでしょうか？



『銀の匙』

中勘助／作 安野光雅／絵 朝日出版社 (F/71)

- 紹介作品(50音順)
- 絵本の春
- 銀の匙
- ×切本
- 春琴抄
- たけくらべ
- 文豪とアルケミスト 文学全集 [第1期]
- 蜜柑

名作にチャレンジ！
日本編

2021 冬